

銀行名	四国銀行
タイトル	クラウドファンディングを活用した「栗木の再生プロジェクト」支援
取組み内容	<p>【経緯】</p> <p>(1) 四万十町は栗の栽培が盛んな地域であったが、後継者不足や就農者の高齢化、獣害の深刻化を受け、1990年代に500tを超えていた収穫量が約30tまで減少。</p> <p>(2) この状況に危機感を抱いたA社は、栗の産地としての賑わいを取り戻すため、栗の生産者、JA、食品加工会社等と連携し、「しまんと10,000本プロジェクト」(以下、プロジェクト)をスタートさせた。地域の事業者が連携し、栗の木10,000本の植樹から食品の加工販売まで、6次産業化に取組み、地域の活性化を図っている状況。</p> <p>【取組み内容】</p> <p>(1) 当行はA社の社長よりプロジェクト支援の相談を受け、投資型クラウドファンディング(以下、投資型CF)に関する情報を提供。</p> <p>(2) 資金調達目的ではなく、商品(栗スイーツ)プロモーション、地域情報の発信を通じた「販路拡大」・「観光客誘致」手法としての活用を提案。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 上記の提案が認められ、業務提携先のミュージックセキュリティーズを紹介。投資型CF利用に至る。</p> <p>(2) 平成27年6月、6.3百万円の資金募集を開始し、わずか2日で資金募集完了。</p> <p>(3) 投資型CFを活用した情報発信が奏功し、商品に関する問合せが増加。今後、増収が見込まれる状況となった。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

銀行名	四国銀行
タイトル	量販店の6次産業化・農業法人設立支援
取組み内容	<p>【経緯】</p> <p>(1) B社(スーパーマーケット他経営)社長から営業店担当者へ、農業参入(有機野菜生産/川上に参入する6次産業化)に関する相談あり。お客さまサポート部(現 法人サポート部)と連携し、農業参入(創業)支援を開始。</p> <p>(2) 地域のモデルケースと成り得る取組みを支援するため、当行、日本政策金融公庫(以下、公庫)、高知県、四万十町が支援チームを結成。</p> <p>【取組み内容】</p> <p>(1) 当行は支援チーム結成前に、事業スキームや新会社を設立する際の法人形態に関する助言を行ったほか、今後の事業承継(経営承継)を見据えた当プロジェクトへの後継者の参画を提案。</p> <p>(2) 支援チーム結成後は、高知県、四万十町が生産技術面や農業資材調達に関する助言を行ったほか、高知県産業振興計画のアクションプラン申請(補助金関連)を支援。資金調達スキームの構築では、当行と公庫が連携し、当行プロパー資金、公庫/スーパーL資金・劣後ローンの活用を提案。</p> <p>(3) 事業計画策定段階においては、B社の社長・後継者、支援チーム担当者が参加した会議で、事業計画のブラッシュアップを行った。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) B社は農業参入するにあたり、後継者を社長とした別法人C社を設立。現在、有機野菜の生産を開始している。</p> <p>(2) 当行は、プロパー手貸10百万円(運転資金)、公庫スーパーL資金代理貸5.5百万円(設備資金)を実行。公庫は劣後ローン10百万円を実行。</p> <p>(3) このほか、高知県産業振興計画のアクションプランにC社の事業が採択された。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

銀行名	四国銀行
タイトル	エコノミクス甲子園高知大会
取組み内容	<p>【動機（経緯）】 クイズを通じて金融経済の知識の重要性を高校生に知ってもらうために、NPO 法人金融知力普及協会と共催で「第9回エコノミクス甲子園」の地方大会として、エコノミクス甲子園高知大会を初めて開催した。</p> <p>【取組み内容】 金融経済教育の取組みの一環として実施。県内の高校に生徒の参加を要請し、9組18名が参加して、第3回目の高知大会を開催。</p> <ul style="list-style-type: none">・筆記試験（50問）・早押しクイズ・決勝ラウンド（人生設計クイズ） <p>【取組みの効果】 クイズ形式で気軽に金融経済の知識に触れ、楽しみながら金融知力を身に付けてもらうことができた。</p>

銀行名	四国銀行
タイトル	<四銀>夏休み子ども教室「お金のセミナー」
取組み内容	<p>【動機（経緯）】 「お金」の大切さや「お小遣い」の使い方等を学習するとともに、銀行の仕事を一部体験してもらい、「お金と銀行」に関する基本的な知識を身に付ける機会を提供することで、将来の地域社会を担う人材の育成を図るため実施した。</p> <p>【取組み内容】 小学生を対象に、夏休みの1日を利用して、「お金」の大切さについての講演を行うと共に、銀行の仕事などの体験学習を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演：「大切なお金とお小遣いの話」 ・体験学習：「ビジネスマナー」 <ul style="list-style-type: none"> 「模擬紙幣による札勘練習」 「銀行窓口の機械操作体験」 「本店のロビーやATMコーナー見学」など <p>【取組みの効果】 札勘定やテラースマシンの体験により、楽しく銀行業務を学んでもらうことができた。</p> <p>平成19年から開催し、今回で9回目となり、地元で恒例のイベントになっている。</p>

銀行名	四国銀行
タイトル	<四銀>夏休み子ども教室「科学教室」
取組み内容	<p>【動機（経緯）】 小学生を対象に夏休みを利用して、「科学教室」を開催している。これは、小学生の頃から理科や科学の楽しさに触れ、興味を持ってもらう事で、高知県の「ものづくり」を担う人材の育成を図るために実施しているもの。</p> <p>【取組み内容】 27年度は「自在に動くロボットカーを作ろう」と題し、全員がオリジナルのロボットカーを作るセミナーを開催。</p> <p>（1）講師：えひめ科学ゆめ塾・研究所 塾長・所長 加藤隆弘 氏 （2）内容：「自在に動くロボットカーを作ろう！」</p> <p>【取組みの効果】 オリジナルロボットカーを作製することで、ものづくりの楽しさを体験してもらった。制作した作品が夏休みの宿題にも利用できることから、人気のイベントになっている。</p>

銀行名	四国銀行
タイトル	環境保全への取組み
取組み内容	<p>【動機（経緯）】 環境問題への取組みを重要な経営課題と位置付け、本店及び本店別館において、省エネ・省資源、森林保全活動や環境関連商品の開発など積極的に環境保全活動に取り組んでいる。</p> <p>【取組み内容】 <「協働の森事業」への参加> 高知県、高知市と「協働の森事業」パートナーズ協定を締結。高知市鏡柿ノ又の市有林を「未来を鏡に～四銀絆の森」と名付け、行員、家族が高知市の職員の方々が結成したNPO「こうち森林救援隊」と協働で間伐ボランティア活動を行っている。</p> <p><「四銀絆の森」交流会> 「四銀絆の森」に毎年小学生や保護者を招待し交流会を開催している。交流会では植樹、間伐見学、木工教室などを実施し、森林の大切さを学んでもらっている。</p> <p><里山保全活動> 森林保全活動の一環として、里山および周辺の整備や清掃をNPOと協働で行っている。</p> <p>【取組みの効果】 行政、NPO法人、ボランティア団体の活動と連携を図りながら、広がりのある森づくり活動を行っている。</p>